

希望の子

小林市立南小学校 校長通信
令和3年10月8日 第19号 (文責 校長 吉井秀一)
TEL: (0984) 23-3520 E-mail:1403eb@miyazaki-c.ed.jp

9月の運動会は、2学年ずつの「分散型」としましたが、たくさんのご参観をいただき誠にありがとうございました。また、やむなく行いました。また参観者の制限に御協力いただいたことにも併せて感謝申し上げます。

後から伺った話ですが、ファンの外からご覧になっていたおじいちゃんの姿もあつたとか…。きっと「俺が遠慮する」と人数の制限を守つていただいたのですね。

その子には、おじいちゃんの応援の声は届かなかつたかもしれません、きっと「約束(きまり)を守る誠実さ」というすばらしい贈り物が心に届いたことでしょう。幸せなお孫さんだと思います。

コロナ禍の中、大きな混乱もなく、終業式を迎えました。一学期の本校の教育活動への御理解、御協力に深く感謝申しあげます。

9月の運動会は、2学年ずつの「分散型」としましたが、たくさんのご参観をいただき誠にありがとうございました。また、やむなく行いました。また参観者の制限に御協力いただいたことにも併せて感謝申し上げます。

後から伺った話ですが、ファンの外からご覧になっていたおじいちゃんの姿もあつたとか…。きっと「俺が遠慮する」と人数の制限を守つていただいたのですね。

その子には、おじいちゃんの応援の声は届かなかつたかもしれません、きっと「約束(きまり)を守る誠実さ」というすばらしい贈り物が心に届いたことでしょう。幸せなお孫さんだと思います。

コロナ禍の中、大きな混乱もなく、終業式を迎えました。一学期の本校の教育活動への御理解、御協力に深く感謝申しあげます。

でわかる子、苦手な子

朝の正門に、保護者の方の姿が見えました。PTA活動の一環としてあいさつ運動に来ていただいたようです。「各地の中にはなかなか声の出ない子通学路で皆さんのが活動しているのだな。」と改めています。しかしながら、私としては、今ひとつ心もとなく思うところがあります。日頃の子どもたちの「あいさつ」です。

せっかく忙しい朝に立ってくださっている保護者の方に気持のよいあいさつができるているのか心配です。

その昔、この南小学校は、登校すると、校舎に向かって大きな声であいさつするのが習慣だったと記録に残っています。おそらく当時は多くの学校で同じようなことが行われていたでしょうが、わざわざ記録に残っていると言うことは、相当なことです。

今までの教え子にも、こんな声であいさつするのが習慣になってしまった。大人になっての再会に、はんかんであいさつしないかと思えなぜなら、あいさつは一人であります。安心してあいさつを交わせる相手がいつもそばにいることが、心の背中を押すきっかけになればと思います。

ある業界日本一の企業の人材担当者に、「どんな人材を求めているか聞きました。即答

今年は学校だけの活動ですが「南小まつり」を実施することに致しました。御協力いただきます地域の皆様にもお礼を申しあげます。5・6年生は、これまでにない活動も計画中ですのでお楽しみに。10月24日(日)

道徳の授業の感想

新型コロナウイルス感染症に係る偏見や差別を防ぐために、小林市教育委員会が資料を作成し、小林市全校で道徳の授業が行われました。保護者の皆様にも感想をお願いしたところですが、お忙しい中、たくさんのお返事が届いたことに驚きました。日頃から、子どもの人権を守るために真剣に考えてくださっていることがよく分かりました。勝手で申し訳ありませんが、ご意見の一部を紹介させていただき、思いを共有したいと思います。

御協力ありがとうございました。

- 家庭でもコロナに限らず差別、偏見はよくないこ事と話をしています。ワクチンを打つても感染はする、自分がウイルスを運んでしまうかもという認識を持てば、差別、偏見は減ると思います。
- 今もなくならない差別や偏見。親が話す内容などが子どもに影響する可能性があるので気を付けていきたいです。
- みんながつらいときほど励ますことができる強い人間でありたいと思いました。
- コロナ感染。自分にも起ることも思っていても感染者が出たと聞くと不安になります。でも落ち着いて、感染予防と人への思いやりを忘れずに、日々生活していきたいと思います。
- 大人が発する言葉や反応に子どもは影響を受けると思うので、普段からの言葉遣いや反応に気をつけたいです。コロナのことに限らず、相手の立場に立って物事が考えられよう機会あるごとに親子で話していきたいです。
- コロナ差別だけでなく、人を外見や境遇、他の人からの話(うわさ)で差別、偏見をすることは絶対に許せないことです。このコロナ禍で子どもたちは身をもって差別、偏見を学習できていると思います。

みんな大切なことは分かっているし、知っている。

しかし、事が自分の身に降りかかったときに、簡単に崩れてしまうことがあります。

批判が外に向いて不安や怒りが湧いてくると

分かっていたはずの自分の心さえ見失うことがあります。

人の心は年齢に関係なく、いつまでも成長期です。

大人も子どもも いつも語り合って心を鍛えましょう。